

か'が'くで、
か'が'や'く。



日本曹達DXビジョン 2.0

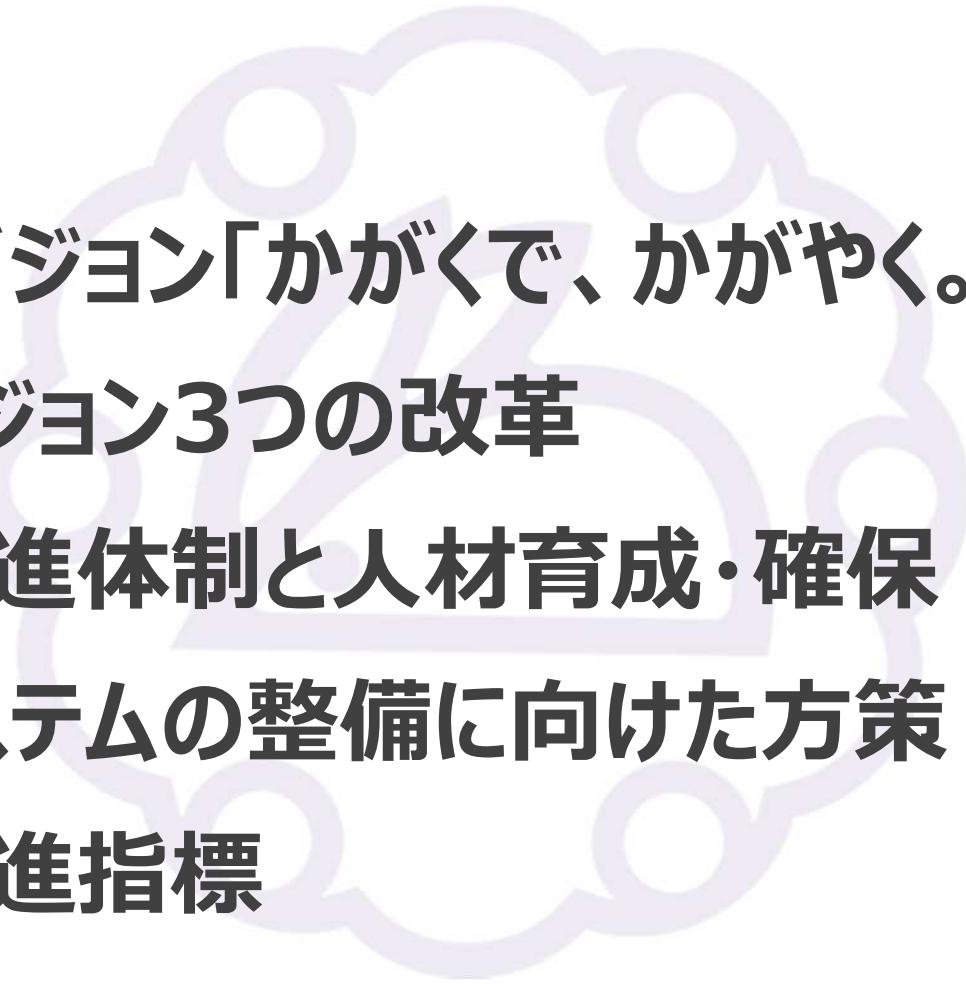
「デジタルで、かがやく。」



日本曹達株式会社

2025年 10月 28日

目次

- 
- 01 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」**
 - 02 DXビジョン3つの改革**
 - 03 DX推進体制と人材育成・確保**
 - 04 ITシステムの整備に向けた方策**
 - 05 DX推進指標**

01 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」

かがくで、
かがやく。

2030年のありたい姿

高付加価値事業の拡大と不採算事業の整理を加速とともに、徹底した経営の効率化を推し進め、事業環境の変化に強く、安定した収益を生み出す事業ポートフォリオへ変革する。

日本曹達のミッション

新たな価値を化学の力で創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現する。

長期ビジョンにおける基本戦略と主要課題

ROIを重視した成長戦略と徹底した構造改革により、『高効率な事業構造に変革してゆく。～利益効率を二倍以上に～』

高付加価値事業の拡大

- 成長ドライバー製品のさらなる拡大
- 新規事業の創出（有機EL事業、アニマルヘルス事業）
- 成長事業への投資（成長投資 300億円、研究開発費 400億）

経営基盤の強化

- 生産年齢人口減少対策（DX・人的資本投資 100億円）
- 既存事業の基盤強化（維持更新投資 300億円）
- スタートアップ投資、事業提携・M&A

資本効率の改善・株主還元

- バランスシート改革（棚卸資産の縮減、政策保有株式の整理）
- 有利子負債調達
- 株主還元（累進配当方針を導入、自己株式取得を機動的に実施）



DXビジョン「デジタルで、かがやく。」

高効率な事業構造への変革を目指し、デジタル技術を活用してDXを実現する。

スマートファクトリー／生産改革

生産性向上、品質安定化、予防保全の強化

デジタルツインの実現に向けた環境整備

- 既存業務のデジタイゼーション
- DXマインドの醸成

スマートラボ／研究改革

研究開発の高度化による競争力の強化

スマートリサーチプラットフォームの構築・活用促進

- AI・データ駆動型研究開発による圧倒的なパフォーマンスの向上
- 革新的な次世代実験室への進化

スマートオフィス／業務改革

データの整備と活用による経営の高度化

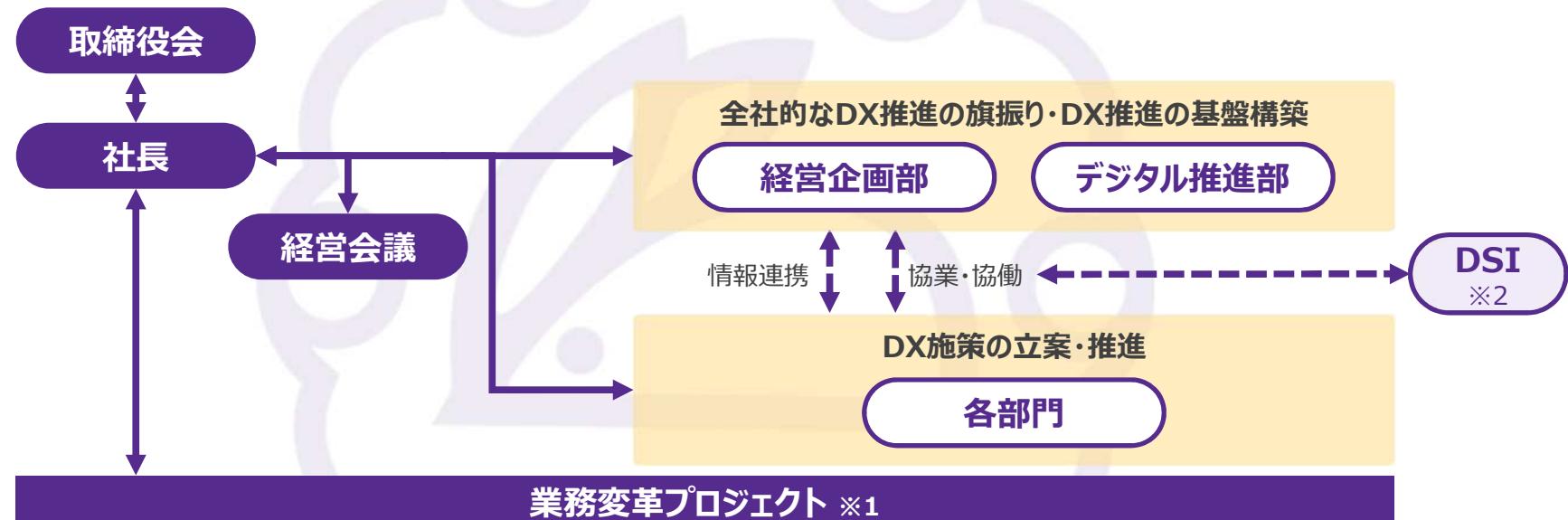
DX推進の基盤構築

- ERPパッケージ刷新を含むデジタル情報基盤の構築と業務標準化
- 情報セキュリティの強化推進

03 DX推進体制と人材育成・確保

DXを推進するための組織および体制

経営トップ・経営層が主導し、経営企画部・デジタル推進部が全社のDX施策を俯瞰して戦略を立案する。各部門は従来の業務慣習にとらわれず、「例外」や「聖域」を設けず、社内全域で企画・推進する体制とする。



新人事制度の施行

社員の「挑戦」「学び」「活用」を後押しする体制の構築

生成AI活用スキルの向上

DSI※2による生成AI全社活用に向けた発信・プロモーション(DX普及イベントの開催)等の活動

重点強化技術の外部導入

外部企業との積極的な連携による技術導入

※1 部門横断で体制を構築し、ERPパッケージ刷新を軸に業務変革を推進する全社的なプロジェクト
※2 Data Science Initiative…若手研究者が主導するデータサイエンス活用ワーキンググループ

04 ITシステムの整備に向けた方策

ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に向けた方策

DXを推進するため、AI活用を前提としたデジタル技術の活用環境を統合的に整備する。

ITシステム・デジタル技術の活用

業務の標準化・統合

AIの高度化を支える
データ整備

スマートファクトリー

運転管理ソリューションの導入
工場全域でのモバイル活用

スマートラボ

次世代研究DBの稼働および
ELN※と連携したデータ活用
実験プロセスの
デジタル化・24時間化推進

スマートオフィス

ERPパッケージの稼働
データ活用基盤の構築・運用

DXを推進する人材の創出

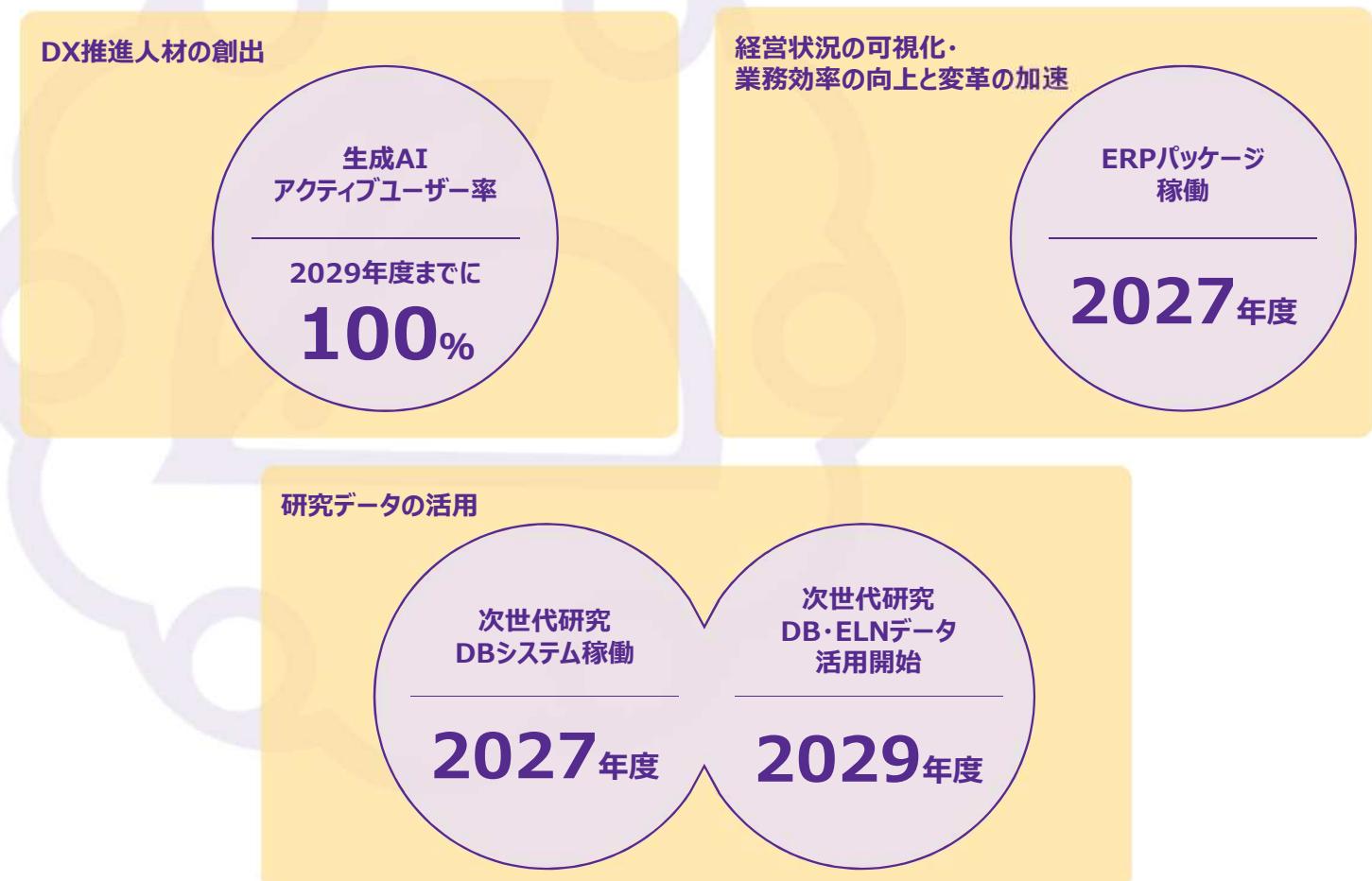
全社員のDXリテラシー底上げ サイバーセキュリティ対策の強化

※ Electronic Lab Notebook(電子実験ノート)

05 DX推進指標

DXを推進するための指標

DX推進指標の達成を通じ、将来のありたい姿を実現する。



か'か'くで、
か'か'やく。
「デジタルで、かがやく。」



 日本曹達株式会社